

地域資源を活用した『本物志向』のまちの魅力向上と経済活性化による持続可能な選ばれる都市づくり

交付対象事業の背景・概要

A. 地方創生として目指す将来像（交付対象事業の背景）

本市は、歴史、文化や景観などの様々な固有の地域資源に恵まれており、特に清流長良川や金華山、1300年以上続くぎふ・長良川鵜飼などは、多くの市民に認知され親しまれるとともに、本市が誇る観光スポットである。一方で、これらの地域資源以外にも、柳ヶ瀬商店街や岐阜和傘など、本市にとって誇ることのできる地域資源が多く存在しているものの、十分に認知されていないものも多く、積極的な活用により、まちの魅力のさらなる向上を図っていくことが必要である。

また、本市の人口は、全国的な傾向と同様に減少傾向にあり、社会動態は転出超過が続いているものの、2019年度以降、市外へのシティプロモーションを積極的に実施するなど様々な取り組みにより、近年は改善しており、良い兆しが見え始め、その流れを継続していくことが重要である。

そういった中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、中心市街地への入込客数や賑わいを感じる人の割合が減少している状況があり、県都岐阜市として人口のダム機能を果たし、圏域全体が発展していくよう、本市が魅力ある都市として圏域を引っ張っていくためにも、単にコロナ禍前の状態に戻すのではなく、着実にその状態以上に押し上げていくことが真の地方創生につながると考える。

こうしたことから、固定化された地域資源のみならず、センターゾーン※に位置する市の発展をけん引してきた“柳ヶ瀬商店街”や2021年度に経済産業省から「伝統的工芸品」の指定が見込まれる“岐阜和傘”など、『本物志向』の地域資源の価値を磨き上げ、さらなるまちの魅力向上と経済の活性化を図っていくことが重要であり、その磨き上げられた『本物志向』の地域資源の魅力を、デジタル媒体などを用いながら市内外に効果的に情報発信し、市民の本市への愛着や誇りを醸成することで、定住の促進とともに、交流人口の増加につなげていくことが必要である。

以上から、本市の目指す将来像は、様々な地域資源の価値を高め、活用することで内外に広く認知され、それが都市の魅力となり、人の流入と経済活性化を促進し、ひいては市民の本市への愛着や誇りの一層の醸成につながり、住む人、訪れる人にとって賑わいや活力を実感できるまちとなることである。

B. 地方創生の実現における構造的な課題

平成25年度から毎年度実施している市民意識調査によると、「岐阜市の魅力」については、調査開始以来、「岐阜城・金華山」、「長良川」、「長良川の花火」、「ぎふ・長良川鵜飼」に固定されている。これら本市における「四大観光資源」は、時を経ても変わらない『本物』の魅力であるものの、人口減少やライフスタイルの多様化により、人々の価値観が変化している。これらの魅力だけでは、本市へ訪れる人数を維持していくことは困難である。一方、本市には、ほかにも多くの歴史や伝統に裏打ちされた地域資源があるにもかかわらず、認知度が低く、十分に活用されていない状況である。このようなことから、四大観光資源のみならず、その他の地域資源を積極活用し、その価値向上を図ることで、本来的に本市が有する魅力を顕在化させ、内外の認知度を高める必要がある。

また、同調査における「中心市街地のにぎわいが高まっていると思う」人の割合は、調査開始以来、概ね増加傾向で、官民の地道な取り組みにより、2019年度（調査期間：11月19日から12月2日）には18.8%まで上昇したものの、2021年度はコロナの影響により13.1%まで減少している。このため、市民の賑わいの実感を、コロナ禍以前の上昇カーブに戻していくことが重要である。

このような中、近年、本市の社会動態は全体では転出超過が続いているものの、2018年度の▲1,375人から2020年度は▲352人に大幅改善し、とりわけ若い世代の転入増加が顕著な状況である。今が、都市の魅力向上と経済活性化を加速させ、社会動態のさらなる改善を図っていく好機であり、デジタル技術を最大限活用し、より広く、効果的にシティプロモーションを実施していく必要がある。

C. 交付対象事業の概要		
『本物志向』の地域資源を活かした取り組みや事業者の活動を支援する取り組みにより、まちの魅力をより一層高めるとともに経済の活性化を図っていく。また、市内外に対し、まちの魅力などをデジタル技術も活用した効果的な手段で、より広くシティプロモーションを実施することで、移住・定住を促進し、交流人口の拡大につなげていく。		
<『本物志向』の地域資源を活用したまちの魅力創出> センターゾーンに位置する本市の発展をけん引してきた“柳ヶ瀬商店街”やアート面でも注目され、ポテンシャルの高い伝統工芸品である“岐阜和傘”など、本市には魅力ある地域資源が多く存在している。これら『本物』の地域資源を活かした様々な取り組みを展開することで、賑わいを生み出すとともに、地域資源の『本物』の価値を認識し、愛着や誇りを持てるよう、まちの魅力を一層高めていく。 ・GIFUナイトビュー事業（ぎふ灯り物語） 岐阜和傘、岐阜提灯等の本市の伝統工芸品を活用した「岐阜市」ならではの灯りイベントを実施し、誘客促進を図ることに加え、2021年度に岐阜和傘が経済産業省の「伝統的工芸品」に認定される見込みであることから、そのPRや購買行動につながる展示とするなど、観光振興のみならず伝統工芸品産業の振興を推進していく。 ・信長楽市 岐阜にゆかりある戦国大名織田信長が行った経済政策「楽市楽座」の発祥とされる本市として、その精神を活かし、改めて「信長楽市」と銘打ち、センターゾーンの柳ヶ瀬エリアで、商店街や県内地域店舗によるマーケットや家族連れで参加できるワークショップ、さらにはリニューアルした「岐阜フラッグアート展」等を開催することで、商店街に訪れる機会が少ない世代やファミリー層が足を運ぶ機会をつくり、賑わいの創出を図る。 ・伝統工芸品振興事業及び岐阜和傘等伝統工芸品PR事業 本市の伝統工芸品の1つである岐阜和傘は、後世まで大切に継承していくべき貴重な財産であり、2021年度に経済産業省による「伝統的工芸品」に指定される見込みである。そこで、本来の傘という活用以外にアートという新たな価値を見出し、需要開拓や新商品の開発などへの支援や中心市街地における和傘を活用したイベント等でのPRを実施し、その価値をより一層高めていく。そのうえで、後継者育成も本格的に行っていき、伝統工芸品を本市としての魅力として推進していく。 <持続可能な地域経済活性化> コロナで落ち込んだ地域経済の早い早い回復はもとより、コロナ禍以前の状態以上に経済の活性化を図っていくことが、県都岐阜市として、圏域全体の発展のためにも必要であることから、『本物志向』の地域資源を活かした経済を活性化する取り組みを通じて、持続可能な地域経済の構築を目指していく。 ・Wood Go！（岐阜高島屋） 中心市街地にある柳ヶ瀬商店街と岐阜高島屋が連携し、重要な県産である木材と事業者の関連性を学ぶ機会となるイベントを小学生（高学年）・中学生をターゲットに実施することで、家族で柳ヶ瀬商店街へ訪れるきっかけを作り、商店街周辺の購買、消費行動へつなげ、中心市街地の賑わい創出を図る。 ・バスまちスポット事業 コンビニやドラッグストアなどの民間施設をバスの待合スペースとして活用することで、市民が雨風等を凌げるとともに、店舗内へのデジタルサイネージの設置によるバス到着時刻の見える化により快適なバス待ち環境とすることができ、移動手段が限られる市民の外出を促すことに加えて、中心部への誘導につなげ、にぎわい創出を図る。 ・リノベーションまちづくり支援事業 まちづくりに携わる人材の裾野を広げる取り組みとして、様々なワークショップ等を開催し、将来的には、新旧入り混じり、個性あふれる店舗のある柳ヶ瀬エリアで、郊外にはない魅力ある店を出店してもらい、かつて栄えた柳ヶ瀬エリアの価値を再び高めていく。 ※当該要素事業は、別の実施計画の要素事業に位置付けているため、交付対象外 <シティプロモーションの強化> 若い世代が本市を選び、長く住んでもらうとともに、交流人口を増やし、本市へ訪れることをきっかけとし、移り住んでもらうためにターゲットを絞った効果的なシティプロモーションを実施していく。 ・インターネット・インスタグラム広告		

地域の多様な主体の参画

区分	主体名	主な役割、意見及び改善方策への反映
産	商工会議所	【役割】 各業界への協力依頼 【意見・改善方策】 取り組み内容を単発ではなく、継続的に実施することが、市民や事業者の本市への愛着や誇りの一層の醸成につながるという事業延長に関する意見を踏まえ、事業内容へ反映
官	岐阜森林管理署	【役割】 森林・林業施策全体の推進 【意見・改善方策】 事業を延長するにあたり、公益的機能の維持増進のための専門的意見を、事業内容へ反映
学		
金		
労		
言		
住民全般	自治会	【役割】 地元住民の意見徴収 【意見・改善方策】 継続的に地域のにぎわいを創出する必要があるといった事業期間の延長に関する意見を踏まえ、事業内容への反映

全事業期間における本年の位置付け		『本物志向』の地域資源の活用によるまちの魅力向上										
事業開始時期		事業終了時期		予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②		予算種別②	予算計上時期③		予算種別③	
2022 年 4 月		2023 年 3 月		2022 年 3 月	当初	年 月			年 月			
交付対象事業経費				19,330千円								
交付対象事業におけるソフト事業経費						要素事業数		7		計		17,266千円
	GIFUナイトビュー事業（ぎふ灯り物語）						関連するKPI		①、②、③			
1	岐阜和傘、岐阜提灯等の本市の伝統工芸品を活用した「岐阜市」ならではの灯りイベントを実施し、誘客促進を図ることに加え、2021年度に岐阜和傘が経済産業省の「伝統的工芸品」に認定される見込みであることから、そのPRや購買行動につながる展示とするなど、観光振興のみならず伝統工芸品産業の振興を推進していく。 ・負担金：12,000千円 ・クラウドファンディングにかかる手数料及び使用料：0千円										12,000千円	
	信長楽市						関連するKPI		①、②、③			
2	岐阜にゆかりある戦国大名織田信長が行った経済政策「楽市楽座」の発祥とされる本市として、その精神を活かし、改めて「信長楽市」と銘打ち、センターゾーンの柳ヶ瀬エリアで、商店街や県内地域店舗によるマーケットや家族連れで参加できるワークショップ、さらにはリニューアルした「岐阜フラッグアート展」等を開催することで、商店街に訪れる機会が少ない世代やファミリー層が足を運ぶ機会をつくり、賑わいの創出を図る。 補助金：1,050千円										1,050千円	
	伝統工芸品振興事業及び岐阜和傘等伝統工芸品PR事業						関連するKPI		①、②			
3	本市の伝統工芸品の1つである岐阜和傘は、後世まで大切に継承していくべき貴重な財産であり、2021年度に経済産業省による「伝統的工芸品」に指定される見込みである。そこで、本来の傘という活用以外にアートという新たな価値を見出し、需要開拓や新商品の開発などへの支援や中心市街地における和傘を活用したイベント等でのPRを実施し、その価値をより一層高めていく。そのうえで、後継者育成も本格的に行っていき、伝統工芸品を本市としての魅力として推進していく。 ・補助金：0千円 ・PRパネル：44千円										44千円	
	Wood Go！（岐阜高島屋）						関連するKPI		①、②			
4	中心市街地にある柳ヶ瀬商店街と岐阜高島屋が連携し、重要な県産である木材と事業者の関連性を学ぶ機会となるイベントを小学生（高学年）・中学生をターゲットに実施することで、家族で柳ヶ瀬商店街へ訪れるきっかけを作り、商店街周辺の購買、消費行動へつなげ、中心市街地の賑わい創出を図る。 ・補助金：1,000千円										1,000千円	
	バスまちスポット事業						関連するKPI		①、②			
5	コンビニやドラッグストアなどの民間施設をバスの待合スペースとして活用することで、市民が雨風等を凌げるとともに、店舗内へのデジタルサイネージの設置によるバス到着時刻の見える化により快適なバス待ち環境とすることができ、移動手段が限られる市民の外出を促すことに加えて、中心部への誘導につなげ、にぎわい創出を図る。 ・負担金（広報費）：115千円										115千円	
	インターネット・Instagram広告						関連するKPI		①、②			
6	パソコンやスマホ等でユーザーが求める情報と連動して表示されるインターネット・Instagramなどのデジタルを活用した広告を配信する。インターネット広告では、本市の魅力情報発信サイトである「エエトコタント岐阜市」HP「暮らしページ」をリンク先として、本市の子育て、教育、医療環境などの魅力を訴求し、Instagram広告では、本市公式Instagram「ギフスタ」や「エエトコタント岐阜市」HPへリンクしていくことで本市の認知度向上を図っていく。 ・インターネット広告掲載料（広告料）：248千円 ・Instagram広告掲載料（広告料）：341千円										589千円	
	新プロモーション大使の任命と活用						関連するKPI		①、②			
7	市にゆかりがあり、発信力のあるプロモーション大使を新たに登用し、市公式Youtubeへの出演による動画コンテンツの活用やInstagram等における魅力情報の発信を行うことで、本市の認知度向上を図り、本市へ訪れるきっかけづくりをしていく。 ・消耗品（和傘、大使タスキ等）：77千円 ・大使名刺作成費（印刷製本費）：25千円 ・Youtube及びInstagram出演（委託料）：1,320千円 ・Youtube撮影及び編集等業務委託：979千円 ・鵜飼観覧船使用料：67千円										2,468千円	
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費						要素事業数		1		計		2,064千円
	バスまちスポット事業						関連するKPI		①			
1	コンビニやドラッグストアなどの民間施設をバスの待合スペースとして活用することで、市民が雨風等を凌げるとともに、店舗内へのデジタルサイネージの設置によるバス到着時刻の見える化により快適なバス待ち環境とすることができ、移動手段が限られる市民の外出を促すことに加えて、中心部への誘導につなげ、にぎわい創出を図る。 ・負担金（デジタルサイネージ、看板設置）：2,064千円										2,064千円	

事業延長期間	
--------	--

全事業期間における本年の位置付け		『本物志向』の地域資源の用による、まちの魅力の市内外への浸透							
事業開始時期		事業終了時期		予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2023 年 4 月		2024 年 3 月		2023 年 3 月	当初	年 月		年 月	
交付対象事業経費		21,330千円							
交付対象事業におけるソフト事業経費						要素事業数	7	計	18,330千円
1	GIFUナイトビュー事業（ぎふ灯り物語）						関連するKPI	①、②、③	
	経済産業省から「伝統的工芸品」の認定を受けている岐阜和傘、岐阜提灯等を活用した「岐阜市」ならではの灯りイベントを実施することで、伝統的工芸品産業の振興を推進していくことに加え、鶺鴒オフシーズンにおけるナイトタイムエコノミーの創出を図る。 ・負担金：12,000千円						12,000千円		
2	信長楽市						関連するKPI	①、②、③	
	歩行者利便増進道路（ほこみち）制度を活用し、楽市楽座ゆかりの円徳寺及び周辺地域の歩道上を会場に、商店街や県内地域店舗によるマーケットや家族連れで参加できるワークショップ、さらにはリニューアルした「岐阜フラッグアート展」等を開催することで、商店街に訪れる機会が少ない世代やファミリー層が足を運ぶ機会をつくり、賑わいの創出を図る。 補助金：1,050千円						1,050千円		
3	伝統工芸品振興事業及び岐阜和傘等伝統工芸品PR事業						関連するKPI	①、②	
	本市の伝統工芸品の1つである岐阜和傘は、後世まで大切に継承していくべき貴重な財産であり、2022年3月経済産業省による「伝統的工芸品」に指定された。そこで、本来の傘という活用以外にアートいう新たな価値を見出し、需要開拓や新商品の開発などへの支援や中心市街地における和傘を活用したイベント等でのPRを実施し、その価値をより一層高めるとともに、後継者育成への支援を行っていく。 ・補助金：500千円 ・和傘スタンド：60千円						560千円		
4	W o o d G o !（岐阜高島屋）						関連するKPI	①、②	
	中心市街地にある柳ヶ瀬商店街と岐阜高島屋が連携し、岐阜市産業の礎となる木材産業と商業者の関連性を学ぶ機会となるイベントを小学生（高学年）・中学生をターゲットに実施することで、家族で柳ヶ瀬商店街へ訪れるきっかけを作り、商店街周辺の購買、消費行動へつなげ、中心市街地の賑わい創出を図る。 ・補助金：1,000千円						1,000千円		
5	バスまちスポット事業						関連するKPI	①、②	
	コンビニやドラッグストアなどの民間施設をバスの待合スペースとして活用することで、市民が雨風等を凌げるとともに、店舗内へのデジタルサイネージの設置によるバス到着時刻の見える化により快適なバス待ち環境とすることができ、移動手段が限られる市民の外出を促すことに加えて、中心部への誘導につなげ、にぎわい創出を図る。 ・負担金（広報費、利用調査業務委託 等）：2,000千円						2,000千円		
6	インターネット・Instagram広告						関連するKPI	①、②	
	パソコンやスマホ等でユーザーが求める情報と連動して表示されるインターネット・Instagramなどのデジタルを活用した広告を配信する。インターネット広告では、本市の魅力情報発信サイトである「エトコタナント岐阜市」HPなどをリンク先として、本市の魅力を訴求し、Instagram広告では、「エトコタナント岐阜市」HPトップや「暮らすページ」へリンクしていくことで本市の認知度向上や交流人口の増加を図っていく。 ・インターネット広告掲載料（広告料）：1,120千円 ・Instagram広告掲載料（広告料）：600千円						1,720千円		
7	新プロモーション大使の活用						関連するKPI	①、②	
	市にゆかりがあり、発信力のあるプロモーション大使を登用し、市公式Youtubeへの出演による動画コンテンツの活用やInstagram等における魅力情報の発信を行うことで、本市の認知度向上を図り、本市へ訪れるきっかけづくりをしていく。						0千円		
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費						要素事業数	1	計	3,000千円
1	バスまちスポット事業						関連するKPI	①	
	コンビニやドラッグストアなどの民間施設をバスの待合スペースとして活用することで、市民が雨風等を凌げるとともに、店舗内へのデジタルサイネージの設置によるバス到着時刻の見える化により快適なバス待ち環境とすることができ、移動手段が限られる市民の外出を促すことに加えて、中心部への誘導につなげ、にぎわい創出を図る。 ・負担金（デジタルサイネージ等）：3,000千円						3,000千円		

<2024年度（3年目）>						事業延長期間	
全事業期間における本年の位置付け		『本物志向』の地域資源のさらなる活用による、まちの魅力の市内外への確実な定着					
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2024 年 4 月	2025 年 3 月	2024 年 4 月	当初	年 月		年 月	
交付対象事業経費		#REF!					
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数	計	15,830千円
①GIFUナイトビュー事業（ぎふ灯り物語）					関連するKPI		
1	経済産業省から「伝統的工芸品」の認定を受けている岐阜和傘、岐阜提灯等を活用した「岐阜市」ならではの灯りイベントを実施することで、伝統的工芸品産業の振興を推進していくことに加え、鶺鴒オフシーズンにおけるナイトタイムエコノミーの創出を図る。 ・負担金：12,000千円						12,000千円
信長楽市					関連するKPI	①、②	
2	歩行者利便増進道路（ほこみち）制度を活用し、楽市楽座ゆかりの円徳寺及び周辺地域の歩道上を会場に、商店街や県内地域店舗によるマーケットや家族連れで参加できるワークショップ、さらにはリニューアルした「岐阜フラッグアート展」等を開催することで、商店街に訪れる機会が少ない世代やファミリー層が足を運ぶ機会をつくり、賑わいの創出を図る。 補助金：1,050千円						1,050千円
伝統工芸品振興事業及び岐阜和傘等伝統工芸品PR事業					関連するKPI		
3	本市の伝統工芸品の1つである岐阜和傘は、後世まで大切に継承していくべき貴重な財産であり、2022年3月に経済産業省による「伝統的工芸品」に指定された。そこで、本来の傘という活用以外にアートいう新たな価値を見出し、需要開拓や新商品の開発などへの支援や中心市街地における和傘を活用したイベント等でのPRを実施し、その価値をより一層高めるとともに、後継者育成への支援を行っていく。 ・補助金：0千円 ・PR資材：60千円						60千円
Wood Go！（岐阜高島屋）					関連するKPI		
4	中心市街地にある柳ヶ瀬商店街と岐阜高島屋が連携し、岐阜市産業の礎となる木材産業と商業者の関連性を学ぶ機会となるイベントを小学生（高学年）・中学生をターゲットに実施することで、家族で柳ヶ瀬商店街へ訪れるきっかけを作り、商店街周辺の購買、消費行動へつなげ、中心市街地の賑わい創出を図る。 ・補助金：0千円						0千円
バスまちスポット事業					関連するKPI		
5	コンビニやドラッグストアなどの民間施設をバスの待合スペースとして活用することで、市民が雨風等を凌げるとともに、店舗内へのデジタルサイネージの設置によるバス到着時刻の見える化により快適なバス待ち環境とすることができ、移動手段が限られる市民の外出を促すことに加えて、中心部への誘導につなげ、にぎわい創出を図る。 ・負担金（広報費、利用調査業務委託等）：1,000千円						1,000千円
インターネット・Instagram広告					関連するKPI		
6	パソコンやスマホ等でユーザーが求める情報と連動して表示されるインターネット・Instagramなどのデジタルを活用した広告を配信する。インターネット広告では、本市の魅力情報発信サイトである「エエトコタント岐阜市」HPなどをリンク先として、本市の魅力を訴求し、Instagram広告では、「エエトコタント岐阜市」HPトップや「暮らすページ」へリンクしていくことで本市の認知度向上や交流人口の増加を図っていく。 ・インターネット広告掲載料（広告料）：650千円 ・Instagram広告掲載料（広告料）：1,070千円						1,720千円
新プロモーション大使の活用					関連するKPI		
7	市にゆかりがあり、発信力のあるプロモーション大使を新たに登用し、市公式Youtubeへの出演による動画コンテンツの活用やInstagram等における魅力情報の発信を行うことで、本市の認知度向上を図り、本市へ訪れるきっかけづくりをしていく。 ・Youtube及びInstagram出演（委託料）：0千円 ・Youtube撮影及び編集等業務委託：0千円						0千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費					要素事業数	計	18,860千円
バスまちスポット事業					関連するKPI		
1	コンビニやドラッグストアなどの民間施設をバスの待合スペースとして活用することで、市民が雨風等を凌げるとともに、店舗内へのデジタルサイネージの設置によるバス到着時刻の見える化により快適なバス待ち環境とすることができ、移動手段が限られる市民の外出を促すことに加えて、中心部への誘導につなげ、にぎわい創出を図る。 ・負担金（デジタルサイネージ等）：4,000千円						4,000千円

<2025年度（４年目）>

<2025年度（４年目）>				事業延長期間		○		
全事業期間における本年の位置付け		『本物志向』の地域資源のさらなる活用による、まちの魅力の強化						
事業開始時期		事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2025 年 4 月		2026 年 3 月	2025 年 3 月	当初	年 月		年 月	
交付対象事業経費								20,080千円
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数	7	計	16,830千円
1	GIFUナイトビュー事業（ぎふ灯り物語）				関連するKPI	①、②、③		14,800千円
	経済産業省から「伝統的工芸品」の認定を受けている岐阜和傘、岐阜提灯等を活用した「岐阜市」ならではの灯りイベントを実施することで、伝統的工芸品産業の振興を推進していくことに加え、鶴飼オフシーズンにおけるナイトタイムエコノミーの創出を図る。 ・イベント開催経費（負担金）：14,800千円							
2	信長楽市				関連するKPI	①、②、③		0千円
	歩行者利便増進道路（ほこみち）制度を活用し、楽市楽座ゆかりの円徳寺及び周辺地域の歩道上を会場に、商店街や県内地域店舗によるマーケットや家族連れで参加できるワークショップ、さらにはリニューアルした「岐阜フラッグアート展」等を開催することで、商店街に訪れる機会が少ない世代やファミリー層が足を運ぶ機会をつくり、賑わいの創出を図る。 ・補助金：0円							
3	伝統工芸品振興事業及び岐阜和傘等伝統工芸品PR事業				関連するKPI	①、③		60千円
	本市の伝統工芸品の１つである岐阜和傘は、後世まで大切に継承していくべき貴重な財産であり、2022年3月に経済産業省による「伝統的工芸品」に指定された。そこで、本来の傘という活用以外にアートという新たな価値を見出し、需要開拓や新商品の開発などへの支援や中心市街地における和傘を活用したイベント等でのPRを実施し、その価値をより一層高めるとともに、後継者育成への支援を行っていく。 ・補助金：0千円 ・PR資材：60千円							
4	W o o d G o !（岐阜高島屋）				関連するKPI	①、③		0千円
	中心市街地にある柳ヶ瀬商店街と岐阜高島屋が連携し、岐阜市産業の礎となる木材産業と商業者の関連性を学ぶ機会となるイベントを小学生（高学年）・中学生をターゲットに実施することで、家族で柳ヶ瀬商店街へ訪れるきっかけを作り、商店街周辺の購買、消費行動へつなげ、中心市街地の賑わい創出を図る。 ・補助金：0千円							
5	バスまちスポット事業				関連するKPI	①		250千円
	コンビニやドラッグストアなどの民間施設をバスの待合スペースとして活用することで、市民が雨風等を凌げるとともに、店舗内へのデジタルサイネージの設置によるバス到着時刻の見える化により快適なバス待ち環境とすることができ、市民の外出を促すことに加えて、中心部への誘導につなげ、にぎわい創出を図る。これまでの路線バスに加え、コミュニティバスも対象とし、対象店舗を拡大することで、更なる環境改善を図る。 ・デジタルサイネージのチラシ作成等の広報費（負担金）：250千円							
6	インターネット・Instagram広告				関連するKPI	①、②		1,720千円
	パソコンやスマホ等でユーザーが求める情報と連動して表示されるデジタルを活用した広告を配信する。これまでの運用実績から、効果の高かったInstagram広告に絞り、「エエトコタント岐阜市」HPトップや「暮らすページ」へリンクしていくことで本市の認知度向上や交流人口の増加を図っていく。 ・インターネット広告掲載料（広告料）：0円 ・Instagram広告掲載料（広告料）：1,720千円							
7	新プロモーション大使の活用				関連するKPI	①、②		0千円
	市にゆかりがあり、発信力のあるプロモーション大使を新たに登用し、市公式Youtubeへの出演による動画コンテンツの活用やInstagram等における魅力情報の発信を行うことで、本市の認知度向上を図り、本市へ訪れるきっかけづくりをしていく。 ・Youtube及びInstagram出演（委託料）：0千円 ・Youtube撮影及び編集等業務委託：0千円							
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費					要素事業数	1	計	3,250千円
1	バスまちスポット事業				関連するKPI	①		3,250千円
	コンビニやドラッグストアなどの民間施設をバスの待合スペースとして活用することで、市民が雨風等を凌げるとともに、店舗内へのデジタルサイネージの設置によるバス到着時刻の見える化により快適なバス待ち環境とすることができ、市民の外出を促すことに加えて、中心部への誘導につなげ、にぎわい創出を図る。これまでの路線バスに加え、コミュニティバスも対象とし、対象店舗を拡大することで、更なる環境改善を図る。 ・デジタルサイネージ設置にかかる経費（負担金）：3,250千円							

事業延長期間	○
--------	---

全事業期間における本年の位置付け		『本物志向』の地域資源のさらなる活用による、まちの魅力の深化						
事業開始時期		事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2026 年 4 月		2027 年 3 月	2026 年 3 月	当初	年 月		年 月	
交付対象事業経費		20,080千円						
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数	7	計	16,830千円
GIFUナイトビュー事業（ぎふ灯り物語）					関連するKPI	①、②、③		
1	経済産業省から「伝統的工芸品」の認定を受けている岐阜和傘、岐阜提灯等を活用した「岐阜市」ならではの灯りイベントを実施することで、伝統的工芸品産業の振興を推進していくことに加え、鶺鴒オフシーズンにおけるナイトタイムエコノミーの創出を図る。 ・イベント開催経費（負担金）：14,800千円						14,800千円	
信長楽市					関連するKPI	①、②、③		
2	歩行者利便増進道路（ほこみち）制度を活用し、楽市楽座ゆかりの円徳寺及び周辺地域の歩道上を会場に、商店街や県内地域店舗によるマーケットや家族連れで参加できるワークショップ、さらにはリニューアルした「岐阜フラッグアート展」等を開催することで、商店街に訪れる機会が少ない世代やファミリー層が足を運ぶ機会をつくり、賑わいの創出を図る。 ・補助金：0円						0千円	
伝統工芸品振興事業及び岐阜和傘等伝統工芸品PR事業					関連するKPI	①、③		
3	本市の伝統工芸品の1つである岐阜和傘は、後世まで大切に継承していくべき貴重な財産であり、2022年3月に経済産業省による「伝統的工芸品」に指定された。そこで、本来の傘という活用以外にアートいう新たな価値を見出し、需要開拓や新商品の開発などへの支援や中心市街地における和傘を活用したイベント等でのPRを実施し、その価値をより一層高めるとともに、後継者育成への支援を行っている。 ・補助金：0千円 ・PR資材：60千円						60千円	
Wood Go！（岐阜高島屋）					関連するKPI	①、③		
4	中心市街地にある柳ヶ瀬商店街と岐阜高島屋が連携し、岐阜市産業の礎となる木材産業と商業者の関連性を学ぶ機会となるイベントを小学生（高学年）・中学生をターゲットに実施することで、家族で柳ヶ瀬商店街へ訪れるきっかけを作り、商店街周辺の購買、消費行動へつなげ、中心市街地の賑わい創出を図る。 ・補助金：0千円						0千円	
バスまちスポット事業					関連するKPI	①		
5	コンビニやドラッグストアなどの民間施設をバスの待合スペースとして活用することで、市民が雨風等を凌げるとともに、店舗内へのデジタルサイネージの設置によるバス到着時刻の見える化により快適なバス待ち環境とすることができ、市民の外出を促すことに加えて、中心部への誘導につなげ、にぎわい創出を図る。これまでの路線バスに加え、コミュニティバスも対象とし、対象店舗を拡大することで、更なる環境改善を図る。 ・デジタルサイネージの広報に係る経費（負担金）：250千円						250千円	
インターネット・Instagram広告					関連するKPI	①、②		
6	パソコンやスマホ等でユーザーが求める情報と連動して表示されるデジタルを活用した広告を配信する。これまでの運用実績から、効果の高かったInstagram広告に絞り、「エエトコタント岐阜市」HPトップや「暮らすページ」へリンクしていくことで本市の認知度向上や交流人口の増加を図っていく。 ・インターネット広告掲載料（広告料）：0円 ・Instagram広告掲載料（広告料）：1,720千円						1,720千円	
新プロモーション大使の活用					関連するKPI	①、②		
7	市にゆかりがあり、発信力のあるプロモーション大使を新たに登用し、市公式Youtubeへの出演による動画コンテンツの活用やInstagram等における魅力情報の発信を行うことで、本市の認知度向上を図り、本市へ訪れるきっかけづくりをしていく。 ・Youtube及びInstagram出演（委託料）：0千円 ・Youtube撮影及び編集等業務委託：0千円						0千円	
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費					要素事業数	1	計	3,250千円
バスまちスポット事業					関連するKPI	①		
1	コンビニやドラッグストアなどの民間施設をバスの待合スペースとして活用することで、市民が雨風等を凌げるとともに、店舗内へのデジタルサイネージの設置によるバス到着時刻の見える化により快適なバス待ち環境とすることができ、移動手段が限られる市民の外出を促すことに加えて、中心部への誘導につなげ、にぎわい創出を図る。これまでの路線バスに加え、コミュニティバスも対象とし、対象店舗を拡大することで、更なる環境改善を図る。 ・デジタルサイネージ設置にかかる経費（負担金）：3,250千円						3,250千円	